

一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会
第 26 回（オンライン）大会
キャリアの多様化とカウンセリングの可能性
～ 大きな潮目の変化の中で ～
2021/11/13（土）▶14（日）
 November 2021
26th Conferences

<第 26 回大会の開催にあたって>

第 26 回大会実行委員長 吉川雅也

このたび、2021 年 11 月 13 日（土）・14 日（日）に、日本キャリア・カウンセリング学会に改名して最初の大会である第 26 回大会をオンラインにて開催することとなりました。



2020 年から続く新型コロナウイルス感染拡大とその対策により、私たちの生活や社会のあり方は大きな変化を余儀なくされています。社会の様々な場所で困難に直面する方々に私たちは何ができるのか、今一度、私たちの原点であるカウンセリングの可能性に目を向けたいと考えます。一方、リモートワークやオンライン授業など新しいコミュニケーションの方法も大きく浸透しました。技術の進化に戸惑う方々もおられますが、オンライン化により時間や場所の制約が緩み、キャリアにプラスに働いた方もおられます。こうした変化の光の部分にも目を向けることで、働く人々のキャリアの選択肢が広がり、私たち支援者ができることも増えるのではないのでしょうか。いまこの瞬間が大きな変化の渦中にあることを改めて感じています。

そのような思いから「キャリアの多様化とカウンセリングの可能性～大きな潮目の変化の中で～」というテーマを設定しました。このテーマをスタート地点として、大会を通して皆さまとともに考え、語り合えることを楽しみにしております。

今大会では研修会を 5 講座、大会シンポジウムは 4 セッションを企画し、多様なテーマで講師・シンポジストの方々をお迎えできることとなりました。個人発表の部では学術研究の発表のみならず、現場の実践者・実務家の方々にも日々の実践をプレゼンテーションの形式でご報告いただきたいとの思いから、個人研究発表を「研究発表・実践報告」との名称に変更いたしました。そして参加者の皆様からもシンポジウム企画を募り、「公募シンポジウム」という形で対話の場をご一緒に作ることができればとも考えています。

また今大会では、オンラインを活用した新しい試みを 2 つ、ご用意いたしました。ひとつは昨年大会でご要望の多かったオンデマンド形式の導入です。参加チケットをご購入いただいた方は大会終了後の一定期間（約 1 か月を予定）、大会シンポジウムと研修会をご視聴できます。もうひとつはオンライン交流会の実施です。参加者の皆さま同士の交流に加え、シンポジストへの Q&A タイム、研究相談サロンなどもあわせて実施しますので、ぜひご参加ください。

多くの皆さまのご参加を大会実行委員一同、心よりお待ちしております。

I 会期

2021 年 11 月 13 日(土)、14(日) 2 日間 (Zoom を利用したオンライン開催)

II 大会スケジュール

	11/13 (土)	11/14 (日)
11:00	10:30-12:00 研修会 (W1) 研修会 (W2) 研修会 (W3) 研修会 (W4) 研修会 (W5)	10:30-12:10 研究発表実践報告 (R1) 研究発表実践報告 (R2) 研究発表実践報告 (R3) 公募シンポジウム (S1) 公募シンポジウム (S2) 公募シンポジウム (S3)
12:00	昼休憩 60 分	① 10:30-11:00 ② 11:05-11:35 ③ 11:40-12:10 昼休憩 50 分
13:00	13:00-13:30 開会式	13:00-14:40 研究発表実践報告 (R4) 研究発表実践報告 (R5) 研究発表実践報告 (R6) 公募シンポジウム (S4) 公募シンポジウム (S5) 公募シンポジウム (S6)
14:00	13:30-15:00 シンポジウム ① (キャリア三学会の連携と展望) 「意味」や「価値」を見出す 「語り直し」としてのキャリア・カウンセリング — 私たちができること —	① 13:00-13:30 ② 13:35-14:05 ③ 14:10-14:40 休憩 20 分
15:00	🌀 15:00-15:30 表彰式 🌀	15:00-16:30 シンポジウム ③ 発達障害の職場定着支援 — ニューロダイバシティで「障害」 のイメージを覆そう！ シンポジウム ④ (クロストーク) 海外スーパービジョンの体験を通じて、 スーパービジョンの多様性を考える
16:00	15:30-17:00 シンポジウム ② キャリアの多様化とカウンセリングの可能性	休憩 15 分
17:00	17:00-19:00 オンライン交流会	16:45-17:30 クロージングセッション・閉会式
18:00		
19:00		

Ⅲ 研修会の概要と講師プロフィール

10:30～12:00

(講師氏名 敬称略)

W1 明日から始める組織開発

「明日から始める組織開発」というタイトルには、気軽に組織開発的取り組みを始める糸口をつかんでいただきたいという思いを込めました。組織開発、または、OD (Organization Development) という言葉を聞く機会は増えてきたように思いますが、どのような取っかかりからはじめたらよいのかがわかりにくいという声もあるように思います。組織開発とは何か、プロセスを見るとはどういう考えか、協働の取り組みとはどう進めるのかなどのポイントをできるだけわかりやすくお伝えしたいと考えています。

事例としても、私が自分の職場で取り組んだ例などを紹介し、「そういうことなら、自分も明日からできそうだな」と感じていただけるような場を目指します。また、他の領域と同様に、組織開発も奥が深いところがありますので、深掘りしたい方への入口・書籍も紹介します。ともにお話ができることを楽しみにしています！



土屋 耕治(つちや・こうじ)

南山大学人文学部心理人間学科准教授。

1982 年、神奈川県横浜市生まれ。2011 年 3 月名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程単位取得退学。南山大学講師を経て、2021 年 4 月より現職。専門領域は、社会心理学、組織開発、体験学習。

社会心理学の実証的研究に加え、T グループのトレーナー、組織開発のコンサルティングも行うほか、OD Network Japan の基礎講座の講師も担当している。

組織開発では、事例の心理学的理解、倫理、思想史、熟達化を専門としている。

主な論文として、『組織開発 (OD) の倫理：日本における現状の理解と今後の展開へ向けて』(組織開発研究、2020)、『組織の「時間」への働きかけ：組織開発における組織診断の事例から』(実験社会心理学研究、2016)など。

W2 統合的ライフプランニング(ILP: Integrative Life Planning)の基礎を学ぶ

コロナ禍によって、世界中の人々の働き方や人との関わり方、今後の生き方の見通しなどに大きな変化が起きています。このような変化の時代において、クライアントの人生全体を支援するキャリアカウンセリングにも、より新しい視点が期待されているのではないのでしょうか。

「統合的ライフプランニング (ILP: Integrative Life Planning)」は、1990 年代に米国ミネソタ大学教授、サニー・ハンセン教授によって開発され、その重要な課題として「グローバルな視点から自分の仕事を捉え直す、多様性や包摂性を大切にする、個人の変容と組織の変革を共に進める、人生の意味や目的を探究する」などを挙げています。研修会当日は、未来を予見したかのような先進的なこのアプローチの主要なポイントを紹介しつつ、グループワークを通して自分の生き方を振り返り、今後のキャリアカウンセラーの役割についても考える機会を持ちたいと考えています。



平井 達也(ひらい・たつや)

立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター長、教授、臨床心理士。

フルブライト奨学生としてミネソタ大学大学院にて博士号 (Ph.D. カウンセリング心理学) を取得。その際、ILP(Integrative Life Planning: 統合的ライフプランニング) を提唱したサニー・ハンセン教授に師事し、キャリアカウンセリングや ILP などについて幅広く学ぶ機会を得る。

国内外の複数のカウンセリングセンターでカウンセラーとして勤務した経験を持ち、社会人や大学生、産業カウンセラーなどを対象にキャリアカウンセリング研修やライフプランニングワークショップなどを数多く実施してきた。

主な専門領域は、キャリアカウンセリング、多文化間カウンセリング、グループアプローチ、ポジティブ心理学、リーダーシップ教育など。

W3**ナラティブ・セラピーのダイアログ**

ナラティブ・セラピーは、ポスト構造主義や社会構成主義など、拠り所になっている理論が難解であるために、ナラティブという言葉を知っていながらも、なかなか実践には結びつかないところがあります。しかし、ナラティブ・セラピーは、このことをまったく知らない来談者に対して提供するものである以上、実際のやりとりは、十分に理解できるものです。今回は、実際のカウンセリングの会話を紹介し、ナラティブ・セラピーの実際に触れてもらいます。そして、その会話についての質問を受け付けながら、ダイアログについての説明をしていきます。このことを通じて、ナラティブ・セラピーをより身近なものになってくれたらと思います。

**国重 浩一(くにしげ・こういち)**

1964 年、東京都墨田区生まれ。ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー协会会员。鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013 年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。

2019 年には東京に一般社団法人ナラティブ実践協働研究センターの立ち上げに参加。2019 年から日本産業カウンセリング学会の理事、2021 年から日本キャリア・カウンセリング学会の理事となり、国際交流委員会に所属。

W4**スーパービジョンができるスーパーバイザーになるために**

スーパービジョンは、事例検討やケース・カンファレンスではなく、コンサルテーションや事例指導とも異なります。スーパービジョンは、カウンセラーやキャリアコンサルタントの発達と自律を促進するために提供される援助です。スーパーバイザーには、スーパーバイザーが、自らの課題を適切に自己評価し、その課題に主体的に取り組み、その過程を通して成長していくプロセスを継続的に援助する専門性が求められます。スーパービジョンを受けた経験が豊富にあってもスーパービジョンができるわけではありません。スーパービジョンでは、スーパービジョン関係を基盤とする構造の中で、スーパーバイザーの発達と自律を促すための機能が活用されねばなりません。この研修では、スーパービジョンができるスーパーバイザーをめざす方々のために、スーパービジョンの本質を踏まえたスーパービジョンの構造と機能を体得していただきたいと願っています。

**三川 俊樹(みかわ・としき)**

追手門学院大学心理学部教授。1961 年大阪府出身。1984 年 3 月大阪大学人間科学部卒業。1986 年 3 月大阪大学人間科学研究科博士前期課程修了(学術修士)。1987 年 4 月追手門学院大学文学部助手。専任講師、助教授を経て、2004 年 4 月人間学部教授、2006 年 4 月心理学部教授、現在に至る。専門はカウンセリング心理学。

2009 年から日本産業カウンセリング学会のスーパーバイザー養成に取り組み、スーパーバイザーおよびスーパーバイザーの指導者(メンター)の訓練に携わってきた。現在は日本キャリア・カウンセリング学会SV委員長としてその役割を担っている。著書には、日本産業カウンセラー協会(編)「産業現場の事例で学ぶ カウンセラーのためのスーパービジョン活用法」(共著、金子書房)などがある。2020 年度には、厚生労働省の委託事業「キャリアコンサルタントの資質の向上に資する環境整備に関する調査研究」において、キャリアコンサルティングにおけるスーパービジョンについて提言を行ってきた。

W5 アドラー心理学による心理支援とカウンセリング

アドラー心理学は、2013 年、岸見先生の「嫌われる勇気」により、日本に知れ渡りました。それ以来、アドラー心理学関連の著書が多く本屋に並んでおり、よりいっそう広まることを期待しております。

一方で、「本を読んだが難しい、理解できていない、誤解をしている」という感想を聞くことが多くあるのが現状です。そこで、本研修では、アドラー心理学における「共同体感覚」をもとに（アドラー派のカウンセリングでは、「共同体感覚」の育成が求められます）、主要な理論についての理解と、心理支援、カウンセリングの場において、どのように使用していくのか、本では学べないアドラー心理学を紹介したいと思っています。

90 分という時間ではありますが、アドラー心理学に少しでも興味を持っていただけると嬉しいです。



梶野 真(かじの・まこと)

一般社団法人 日本アドラー心理学協会代表。1972 年、神奈川県横浜市生まれ。拓殖大学商学部卒業。2003 年にアドラー心理学と出会い、2008 年、米ミネソタ州・アドラー心理学大学院 (Adler Graduate School) へ留学し、アドラー心理学修士号取得。

現在は、主に日本アドラー心理学協会にてアドラー心理学の講座を展開し、アドラー心理学の専門家の育成、東京・池袋にある千村クリニックにて心理カウンセラー、母校・拓殖大学ボクシング部にてメンタルコーチを務めている。

また、2019 年、仲間共に日本個人心理学会を設立し、アドラー心理学の普及に取り組んでいる。著書『アドラー心理学を深く知る 29 のキーワード』(単著・祥伝社)、『アドラー臨床心理学入門—カウンセリング編』(編著・アルテ)

研修会ご参加にあたってのお願い

- 当日は 5 つの研修会が同時刻に開催されます。それぞれの研修会用に Zoom ルームが 5 つ用意されますので、いずれかひとつのルームにご入室し、ご受講ください。どの研修に参加するかは自由にお決めいただけます。事前の申込や連絡は必要ありません。
- 研修会には静かで通信状況の安定した環境からご参加ください。
- 研修会によっては Zoom のブレイクアウトルーム機能を用いたグループワークを行う場合がございます。質疑応答などでもマイクをお使いいただく場合もございますので、可能な範囲でご準備とお心づもりをお願いいたします。
- 5 つの研修会の内容は録画され、大会参加者は大会終了後、オンデマンド形式で視聴できます。視聴期間は約 1 か月を予定しています。

Ⅳ 主要プログラム

●11月13日（土）大会1日目

<研修会> 10:30~12:00 ※詳細は3~5ページをご覧ください。

<シンポジウム①> 13:30~15:00

「意味」や「価値」を見出す 「語り直し」としてのキャリア・カウンセリング —私たちができること—

シンポジスト	國分 一行	厚生労働省・人材開発統括官付キャリア形成支援室長
(敬称略、順不同)	下村 英雄	日本キャリア教育学会 会長
	脇坂 明	日本キャリアデザイン学会 会長
司会	廣川 進	日本キャリア・カウンセリング学会 会長

※肩書は2021年8月1日現在

【企画主旨】

コロナ禍でデジタル・リモート・オンライン化は加速し、職場や教育の現場の環境は大きく変化しています。また失業、貧困、格差の拡大は2極化を加速し、高齢化も急速に進みます。大きな転換期、過渡期のまっただ中で、キャリア・カウンセリングには何が期待されるのでしょうか。カウンセラーは何をなすべきなのでしょう。

今年の大会は、学会名称を「日本キャリア・カウンセリング学会」に改称して初の大会です。

そもそも「産業」から「キャリア」へシフトした背景には以下の考え方があります。

- ・「キャリア」とは「ワーク」も「ライフ」も統合する最も広義の定義にとらえる。
 - ・「すべての人の生存から自己実現まで」を射程に入れる。
 - ・支援領域は「産業」にとどまらず、「家庭」「学校」「地域」等を含んでいる。支援対象者はpaid workの企業人労働者に限らず、あらゆる個人、学生もシニア層も、unpaid workの従事者（介護、ボランティア等）まで含む。
 - ・個人はもちろん経営、組織、コミュニティ、社会への有効な働きかけ、アプローチを模索する。
- こうした問題意識をもちながら、「キャリア」関連の3学会と行政のリーダーが一堂に会して、当学会への期待や、それぞれの役割や連携協力できること等について議論します。

【シンポジスト】



國分 一行（こくぶん・かずゆき）

厚生労働省・人材開発統括官付キャリア形成支援室長。1993年4月旧労働省入省。

2021年7月から現職（キャリアコンサルティングやジョブ・カード制度などの企画立案・制度運用を担当）。キャリア形成支援に関しては2006年4月~2008年3月にも担当。これまで厚生労働省で、ハローワークサービスの推進、職業訓練受講者の支援、若年者・新規学卒者の就職支援等の業務を経験。その他、在韓国日本大使館や、秋田労働局、広島労働局、高齢・障害・求職者雇用支援機構でも勤務。



下村 英雄（しもむら・ひでお）

日本キャリア教育学会会長。労働政策研究・研修機構キャリア支援部門副統括研究員。筑波大学大学院博士課程心理学研究科修了。博士（心理学）。

主著に『社会正義のキャリア支援—個人の支援から個を取り巻く社会に広がる支援へ』（図書文化社）、『成人キャリア発達とキャリアガイダンス：成人キャリア・コンサルティングの理論的・実践的・政策的基盤』労働政策研究・研修機構（平成26年度労働関係図書優秀賞）、『キャリア・コンストラクション ワークブック：不確かな時代を生き抜くためのキャリア心理学』（金子書房）、『ヘルピング・スキル第2版—探求・洞察・行動のためのこころの援助法』（金子書房）など。産業カウンセラー、2級キャリアコンサルティング技能士。



脇坂 明（わきさか・あきら）

日本キャリアデザイン学会会長（2021年9月現在）

経済学博士（京都大学）、学習院大学経済学部教授。

主著『会社型女性--昇進のネックとライフコース』同文館 1990年（冲永賞 1991年）『職場類型と女性のキャリア形成・増補版』御茶の水書房 1998年『マイクロビジネスの経済分析』東京大学出版会：共著）中小企業研究奨励賞 2003年『日本型ワークシェアリング』PHP 研究所 2002年『女性労働に関する基礎的研究—女性の働き方が示す日本企業の現状と将来』日本評論社 2018年（令和元年度労働関係図書優秀賞） ◇専門分野 労働経済、女性労働

【司会】



廣川 進（ひろかわ・すすむ）

日本キャリア・カウンセリング学会会長。法政大学キャリアデザイン学部教授。大正大学大学院博士課程（臨床心理学専攻）修了（文学博士）。

著書に『失業のキャリアカウンセリング』（金剛出版）、『成人発達臨床心理学 個と関係性からライフサイクルを観る』共著（ナカニシヤ出版）、『統合的心理臨床入門』（共編著）ミネルヴァ書房など。

公認心理師、臨床心理士、シニア産業カウンセラー、2級キャリア・コンサルティング技能士。

日本産業ストレス学会理事。

<表彰式> 15:00～15:30

・各賞表彰式

<シンポジウム②> 15:30~17:00

キャリアの多様化とカウンセリングの可能性

シンポジスト	太田 章彦	島根県海士町複業協同組合 事務局長
(敬称略、順不同)	住田 祥	株式会社エスプレッセ 代表取締役、化粧品研究者/YouTuber
	續橋 昌志	株式会社アーバンファーム八王子 代表取締役
	吉田 富士江	株式会社福笑楽美 代表取締役
司会	馬場 洋介	帝京平成大学大学院臨床心理学研究科 教授

【企画主旨】

このシンポジウムでは「キャリアの多様化」を肌で感じる機会にしたいと思います。

様々な分野・地域などで自分らしい新たな生き方を実践されている方々に、ご自身の現在進行形のキャリアを存分に語っていただきます。未知のキャリアに一步踏み出すために必要なことは何か、その時支えてくれた人はどんな人か、などのリアルな語りを、一風変わった“座談会風”の形態でお届け致します。

また同時に、今後、キャリアの多様化が進む中で、キャリア支援に携わるカウンセラーとして、どのような姿勢でクライアントに向き合い、どのような支援をしていけばいいのかなど、カウンセリングの可能性を考えることも、今回のシンポジウムのテーマです。参加者のみなさんそれぞれが自身のカウンセリングを振り返る機会になればと考えています。

シンポジストのみなさんには、シンポジウム終了後の「交流会」にもご参加いただきます。シンポジストのみなさんとの交流、さらには参加者同士でキャリアの多様化とカウンセリングの可能性を語り合う場になることを期待しています。

【シンポジスト】



太田 章彦（おおた・あきひこ）

海士町複業協同組合 事務局長。1989年島根県松江市生まれ（32歳）。

ビジュアルアーツ専門学校(大阪)で写真を学ぶ。卒業後は島根県浜田市弥栄町に移住し「限界集落の視覚化」をテーマに作品制作を開始。

2年の制作期間を経て発表（Nikon juna21）。発表後は地方創生についての作品制作を行うこと目的に海士町へ移住。（一社）海士町観光協会にて“マルチワーカー”という働き方を実践しながら撮影を行う。令和2年6月、マルチワーカーを参考に「地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律」が法律化され、その制度を活用するために全国で最初に設立された海士町複業協同組合の事務局長として現在は勤務している。



住田 祥（すみだ・しょう）

1986年関東生まれ関西育ち。京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科物質工学専攻修士課程修了。大学では新規界面活性剤の合成と評価を行う。大手化学メーカーの化粧品OEM部門にて処方開発、薬事業務、特許作成などを7年経験。独立後、化粧品研究系YouTuberとして、化粧品科学をベースとしたコスメレビューや、美容情報を発信。現在は法人を運営し、化粧品の研究開発や、商品プロモーションも行っている。

YouTube → 科学的な美容チャンネル「すみしょう」 <https://www.youtube.com/c/sumicos>



續橋 昌志（つづきばし・まさし）

1960 年、北海道生まれ関東育ち。中央大学法学部卒業後、エプソン販売株式会社に入社。以来 31 年にわたり営業部門に従事。秋葉原の電気街から企業、自治体、国の機関など企業系のビジネスを主に担当。

東日本大震災以降、「企業の存在意義」を強く意識するようになり、組織人として従事することからの離別を決意。

55 歳時に同期二人とともに 3 人で早期退職し、2015 年株式会社アーバンファーム八王子を設立。八王子市内の 5000 平米の畑にて露地野菜およそ 30 種類を栽培し、地産地消を目指して市内のスーパー等に納入。

晴耕雨読をベースに農業をする傍ら、農業の可能性を実感しながら以下の活動を並行して実施中。

- ・規格外野菜の子ども食堂への提供
- ・児童養護施設の中高生のインターン受け入れ
- ・引きこもり者の社会復帰訓練への協力
- ・障がい者の作業場としての協力
- ・畑で発生する廃棄野菜の地域活用プロジェクトへの参画
- ・児童養護施設退所者のアフターケア



吉田 富士江（よしだ・ふじえ）

株式会社福笑楽美 代表、日本ファンドレイジング協会大学チャプター共同代表
国立大学法人大阪大学連携ファンドレイザー、関西学院大学 非常勤講師

1961 年生まれ。山口県山口市出身。

山口大学卒業後、大手化粧品会社グループで約 30 年、営業・美容アドバイザー・人材教育・商品プロデュース・管理職に携わる。

学び直しのため関西学院大学 専門職大学院 経営戦略研究科を修了（MBA）。転職で、国立大学法人 大阪大学未来基金のファンドレイザーとして 5 年間活動。この経験を活かし、2020 年に独立。

学校法人を中心にファンドレイジングアドバイザーとして活動中。

日本ファンドレイジング協会認定
認定講師
認定ファンドレイザー
社会貢献教育ファシリテーター



国家資格キャリアコンサルタント（登録番号 20077518 号）
米国 CCE Inc. 認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー
終活カウンセラー上級
健康管理士一般指導員

【司会】



馬場 洋介（ばば・ひろすけ）

1962 年生まれ。帝京平成大学大学院臨床心理学研究科教授。

日本キャリア・カウンセリング学会副会長。

公認心理師・臨床心理士・2 級キャリアコンサルティング技能士・中小企業診断士。

リクルートグループのメンタルヘルス担当を経験した後、再就職支援会社の(株)リクルートキャリアコンサルティングのキャリアカウンセラーとして中高年や精神障害者の再就職支援を担当。

現在、メンタルヘルス専門医療機関の平成医会のリワーク統括責任者としてメンタル面とキャリア面を統合した復職支援を行う。

著書に『心理職の組織への関わり方 産業心理臨床モデルの構築に向けて』（共著・誠信書房）、『キャリア心理学 ライフデザイン・ワークブック』（共著・ナカニシヤ出版）他。

<会員交流会> 17:00～

オンライン交流会

Zoomを使用したオンラインの交流会を企画しています。
シンポジストとの Q&A、ブレイクアウトルームを使用した少人数での交流会、研究相談サロンなどを実施予定です。奮ってご参加ください。



●11月14日（日）大会2日目

<研究発表・実践報告、公募シンポジウム> 10:30～12:10、13:00～14:40

<シンポジウム③> 15:00～16:30

発達障害の職場定着支援

ーニューロダイバシティで「障害」のイメージを覆そう！

シンポジスト 新名 佐代 一般社団法人 職場のメンタルヘルス支援委員会 代表理事
(敬称略、順不同) 須賀 えり子 株式会社ループス・ネット取締役、株式会社 A i ・フィールド代表取締役
小川 耕平 目黒駅前メンタルクリニック 院長、青山学院大学 非常勤講師
司会・シンポジスト 杉山 崇 神奈川大学人間科学部 教授、神奈川大学心理相談センター 所長

【企画主旨】

自閉症スペクトラム（ASD）と注意欠如多動性障害（ADHD）とされる方々は職場で文脈の共有や共同作業がスムーズでないことが多いとされます。一緒に働いている方々を困惑させ、職場定着が困難になる実態もあるようです。ただ、心理科学・神経科学的には、独特な神経発達に因って本人の意志とは無関係な心の使い方の個性が出ているだけです。実は、周囲が自分たちと同じ心の使い方を期待するので、協働における困難が生まれているだけなのです。つまり、「障害」は当事者とされる方の中にあるのではなく、当事者と周囲の間にあるのです。

心の使い方が違うということは、得意なことが違うということです。この観点で相互に得意なことを尊重し合うことで、より機能的な組織を作れるのではないのでしょうか？当日はこのニューロダイバシティの発想で、経営者、キャリア支援者、心理学研究者、精神科医・産業医などのマルチな観点で、発達障害の職場定着の実際を議論し、さらに組織の強化まで展望できることを目指します。

【シンポジスト】



新名 佐代（しんめい・さよ）

一般社団法人 職場のメンタルヘルス支援委員会 代表理事
国家資格キャリアコンサルタント

2001 年より IT 企業にてコンサルタントとして企業のデジタルマーケティング支援に携わる。その後プレイングマネージャーとして複数の部署のマネジメントを経験する中、ほぼ同時に 3 名のメンタル不調者を出してしまう。それをきっかけにメンタルヘルスマネジメ

ントやカウンセリングに興味を持ち、EAP メンタルヘルスカウンセラーの資格を取得。2018 年からは人事として、人事制度改定、採用、人材開発などを担当。

2020 年に独立し、一般社団法人職場のメンタルヘルス支援委員会を設立。Well-being の普及により、働きやすい職場環境の構築、働く人のメンタルヘルス向上のための事業を通じ、ワーク・エンゲイジメント向上、生産性の向上、人材の定着など企業が抱える課題を解決することを目指し法人の活動をスタートさせる。



須賀 えり子（すが・えりこ）

株式会社ループス・ネット（I T 事業所）取締役、

株式会社 A i ・フィールド（企業領域キャリアコンサルティング事業所）代表取締役

国家資格キャリアコンサルタント

2001 年 4 月 夫の I T サービス事業を共に法人化。直ぐに人材育成に課題を感じるが、原因と対処方法が明確にならず翻弄。その後、義父の脳梗塞発症がきっかけで心理学に

出逢う。義父の介護とリハビリの過程で、人は年齢や状況に関わらず成長し変化できることを目のあたりにし魂が揺さぶられる経験をする。ここに人材育成の光明を見出し、キャリアコンサルタント資格取得。

更に、ゲシュタルト療法などの心理療法や EAP メンタルヘルスの学びを通して、人の成長と発達の大きな可能性に着目していく。現在は企業領域でのセルフ・キャリアドック、EAP メンタルヘルスカウンセリング、対話を通じた組織開発へと活動の幅を広げている。



小川 耕平（おがわ・こうへい）

目黒駅前メンタルクリニック 院長、青山学院大学 非常勤講師

医学博士、精神科医、産業医、国家資格キャリアコンサルタント

福島県立医科大学卒業、日本医科大学大学院修了。臨床精神薬理学・司法精神医学・産業精神保健学を修める。長谷川病院、成増厚生病院、日本医科大学付属病院などの精神

科に勤務し、平成 30 年から目黒駅前メンタルクリニック院長。日本では貴重なキャリアコンサルタント資格を有する精神科医。

精神疾患だけでなく「キャリアの病」にも対応し、多くの患者に生きる力と勇気を与えている。この他、産業医として多くの大手企業で活躍し、司法の場では精神鑑定医としても積極的な活動を続けている。

【司会・シンポジスト】

杉山 崇（すぎやま・たかし）



神奈川大学人間科学部 教授、神奈川大学心理相談センター 所長

臨床心理士・公認心理師、1 級キャリアコンサルティング技能士

1994 年より発達障害児の心理支援、精神科、学校/教育委員会、EAP 事業所などで心理職を務め、並行して日本学術振興会特別研究員など心理学研究者として活動する。

90 年代は脳の病、認知の病とされていたうつ病（depression）の社会要因（対人関係や立場、キャリアなど）の病としての側面を心理科学的に実証。

成果を支援活動に活かすべく、2000 年代からキャリア支援へと活動の幅を広げる。

発達障害をワーキングメモリ実行機能と衝動性の特性と再定義し、心理支援・キャリア支援の文脈では自閉症スペクトラム傾向を「認知スタイル」、ADHD 傾向を「行動スタイル」と捉えることを提案し、アセスメントツールと支援メソッドの開発に注力している。

<シンポジウム④> 15:00~16:30

海外スーパービジョンの体験を通じて、スーパービジョンの多様性を考える (クロストーク)

クロストーク参加者	三好 真	大妻女子大学人間関係学部人間関係学科 講師
(敬称略、順不同)	三宅 麻未	一般社団法人 O・ERS 研究所 首席研究員/理事
	三浦 (新免) 玲	法政大学、熊本大学教授システム学研究センター
	浅野 衣子	株式会社キャリア開発サポーターズ 代表取締役
	国重 浩一	ナラティヴ実践協働研究センター

【企画主旨】

JACC 国際交流委員会には、日本以外の国で学び学んだメンバーが所属しています。米国でのスーパービジョンの体験とニュージーランドでのスーパービジョンの体験を共有した後に、国際交流委員会のメンバーでそのことについて語り合います。

ここで、米国やニュージーランドのスーパービジョンシステムの一般論について話すのではなく、個人的な体験を共有したいと考えています。なぜならば、米国やニュージーランド国内においても多様性のあるものを、すべて概説することはできないし、そのような語りは単なる事実の羅列になってしまい、その内容について検討することができないと考えるからです。

ここでのクロストークを通じて、スーパービジョンのあり方の多様性を提示し、日本におけるスーパービジョンのあり方について検討する際に何らかの貢献につながることを願っています。

【クロストーク参加者】



三好 真 (みよし・まこと)

大妻女子大学 人間関係学部人間関係学科講師

全米認定カウンセラー (National Certified Counselor)

米国南イリノイ大学でカウンセラー教育・スーパービジョン学の博士号を取得。

在米中、同大学院において、グループワークの概論・実習のインストラクター及びスーパーバイザーとして勤務。帰国後は、スーパービジョン、キャリア教育、臨床心理現場において、グループ・ワークを応用する手法を用いている。



三宅 麻未 (みやけ・まみ)

博士(商学) 一般社団法人 O・ERS 研究所 首席研究員/理事、

大手前大学 現代社会学部 非常勤講師、国家資格キャリアコンサルタント、

米国 CCE Inc. 認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー

慶応義塾大学卒業後、国内化粧品メーカーのマーケティングを務める。

米国 Hult International Business School, M.B.A. 修了後は外資家電メーカーのブランディングマネージャーや地方創生プロジェクトなど約 10 年にわたり「社会への価値提供」をテーマに多彩な経験を積む。様々な経験の中で、人がイキイキと働ける組織の在り方に関心を持ち始め、30 代半ばで会社勤めから心機一転、キャリア開発を専門に研究者の道へ進む。博士(商学)取得後は大学にて経営学の教鞭を執るかたわら、キャリアコンサルタントの国家資格を活用し幅広い世代の相談に応じている。



三浦 (新免) 玲 (みうら (しんめん) ・れい)

国家資格キャリアコンサルタント・公認心理師、教育学(修士)、
法政大学グローバル教養学部 オフィスマネージャー、
熊本大学教授システム学研究センター&青山学院 Hicon 研究センター研究員、
Earth Career Lab.代表、eLPラーニングデザイナー&マネージャー、
日本キャリア・カウンセリング学会ブランディング委員兼務

アメリカの州立大学卒業後より学生や社会人の雇用支援業務に従事。教育出版社にて学校や企業向け教育企画および講師の研修サポートや人材紹介会社にて就転職希望者と企業人事に対する雇用コンサルティング経験を経て、厚生労働省主催の高校生向け就職進路ガイダンスおよび若年層の再就職支援事業にセミナー講師・カウンセラーとして従事。大学キャリアセンターでは、留学生含む学生向け就職キャリア支援行事の企画実施に従事。現在は、複数の大学や附属機関等において外部講師やコンサルタントを務める傍らキャリア教育プログラム開発研究に取り組んでいる。



浅野 衣子 (あさの・きぬこ)

株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役、
キャリア開発カウンセラー(JICD・キャリア開発研究センター認定)、
キャリアコンサルタント、
認定スーパーバイザー(日本キャリア・カウンセリング学会認定)、
ナラティヴ実践協働研究センター スターティングメンバー、
地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー

同志社女子大学卒業後、阪急百貨店にて販売・仕入れ担当を経て、従業員の能力開発、顧客満足推進に従事。2001 年独立。キャリア開発支援の実務家として、企業の従業員を対象にキャリア開発ワークショップ CDW やキャリア・カウンセリングを実施。学生から中高年齢者のキャリア・カウンセリングに従事。キャリア支援(キャリア・カウンセリング)をする人たちの支援として、スーパービジョンを実施、地方からでもスーパービジョンが受けられるように 2017 年からオンラインでのスーパービジョンを実施している。



国重 浩一 (くにしげ・こういち)

NPACC NZ Limited ディレクター、ナラティヴ実践協働研究センター所属、
ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランド所属
ニュージーランド、ワイカト大学カウンセリング大学院修了。
日本臨床心理士、ニュージーランド、カウンセラー协会会员。

鹿児島県スクールカウンセラー、東日本大震災時の宮城県緊急派遣カウンセラーなどを経て、2013 年からニュージーランドに在住。同年に移民や難民に対する心理援助を提供するための現地 NPO 法人ダイバーシティ・カウンセリング・ニュージーランドを立ち上げる。2019 年には東京に一般社団法人ナラティヴ実践協働研究センターの立ち上げに参加。著書に、『ナラティヴ・セラピーの会話術』(金子書房)、『震災被災地で心理援助職に何ができるのか?』(編著、ratik)、『どもる子どもとの対話』(共著、金子書房)、『ナラティヴ・セラピーのダイアログ』(編著、北大路書房)など。訳書に、モンクほか(編)『ナラティヴ・アプローチの理論から実践まで』、ウィンズレイド&モンク(著)『ナラティヴ・メディエーション』(ともに共訳、北大路書房)、「心理援助職のためのスーパービジョン: 効果的なスーパービジョンの受け方から、良きスーパーバイザーになるまで」(北大路書房)など。

V 大会参加予約申込要領（チケット予約）

1. チケット販売期間

2021年8月1日（日）～2021年11月11日（木）

※ 8月末までは早割期間となります。

※ 大会当日にチケットを購入して参加することはできません。チケット販売期間中にご購入ください。

2. 申込方法

原則チケットは予約制です。イベント管理サイト [Peatix](https://peatix.com/) の「日本キャリア・カウンセリング学会 第26回大会」（<https://jacc26th.peatix.com/>）より、事前にチケットをお買い求めください。

3. 参加費用

参加費用には大会当日の Zoom での参加費用と大会終了後のオンデマンド視聴費用を含みます。第26回大会はオンライン開催のため、大会プログラム・論文集共に PDF 形式でのダウンロード配布とさせていただきます。製本された冊子の郵送・配布は致しませんので、予めご了承ください。

区分	早割(～8/31)	通常料金(9/1～)
当学会正会員	8,000 円	9,000 円
当学会賛助会員	9,000 円	10,000 円
非会員	11,000 円	12,000 円
学生	3,000 円	4,000 円

- 8月31日までは早割期間となり、通常料金よりそれぞれ1,000円の割引となります。
- 「学生」区分には社会人学生・社会人院生の方も含まれます。
- 以下の団体・企業に所属する社員・会員の方は「当学会賛助会員」としてお申し込みが可能です。

一般財団法人 ACCN、株式会社金子書房、公益財団法人関西カウンセリングセンター、
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会、中央職業能力開発協会、
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会、株式会社日本マンパワー、
株式会社フィスメック。

（団体・企業名称 50 音順）

VI 研究発表・実践報告の申込

今大会での「キャリアならびにカウンセリング」に関する「研究発表」および「実践報告*」を募集します。大会2日目（11月14日）の午前および午後に発表枠を用意しております。研究者のみならず、実践者の方も奮ってご応募ください。

*実践報告：キャリア・カウンセリング等の実践活動の内容紹介や結果から得られた成果などを自由に報告することができる発表形態です。他の実践者・研究者の方々との情報共有や実践活動を活性化するような報告を広く募集します。

1. エントリー方法

エントリー・フォームに必要事項をご記入の上、ご提出ください。

⇒ エントリー・フォーム（研究発表・実践報告用）は[こちら](https://forms.gle/wKx8D7mPvrCh3rQD7)（<https://forms.gle/wKx8D7mPvrCh3rQD7>）

※登録後、すぐに指定のアドレスへ確認メールが送信されます。

万が一、メールがご確認できない場合は、メールアドレスに注意して再度提出し直すか、[大会事務局（conference-26th@jacc.or.jp）](mailto:conference-26th@jacc.or.jp)にお問い合わせください。

2. 申込み条件および注意事項

①お申込みには以下の条件をすべて満たしていることが必要です。

- ・登録する発表論文の第一著者であること。
- ・大会当日において本学会正会員（学生会員を含む）であること。
- ・大会当日において年会費を納入済みであること。
- ・指定の期日までに大会参加費が支払い済みであること。

（大会参加費に発表エントリー料が含まれています）

- ・研究・実践の公表に関する規則を遵守していること

（[公表チェックリスト](http://jacc.or.jp/public_documents/guideline/checklist_20210719.pdf)（http://jacc.or.jp/public_documents/guideline/checklist_20210719.pdf）の提出が必須）。

②注意事項

- ・第一著者としてのエントリーは1大会につき1回のみです。
- ・同一タイトルで複数の「一連の発表」を行う場合は、タイトルの末尾に番号を付け、1発表ずつエントリーをしてください。
- ・応募者多数の場合は、審査のうえ、動画発表への変更、あるいは不採択になる場合があります。
- ・大会論文集（プログラム）に投稿する論文やスライドの著作権は本学会に帰属します。本学会にて、論文集の出版および電子化、オンラインでの公開を致します。
- ・発表の枠や時間帯については大会事務局にて一任していただきます。
- ・当日の口頭発表は広報および大会参加者の視聴のため録画致します。

発表の概要や様子を広報誌などに掲載したり、大会終了後、約1か月間、大会参加者の限定サイトにオンデマンド形式で視聴できるようにする予定です（質疑応答部分は公開しません）。

オンデマンドの可否については[エントリー・フォーム](#)提出の際にご連絡ください。

3. 発表方法

オンライン開催につき、以下の①または②のいずれかを選択してください。

①口頭発表：Zoomによる口頭発表（発表20分・質疑応答10分）

※口頭発表の録画と大会参加者への動画公開（1 か月間）にご協力ください。

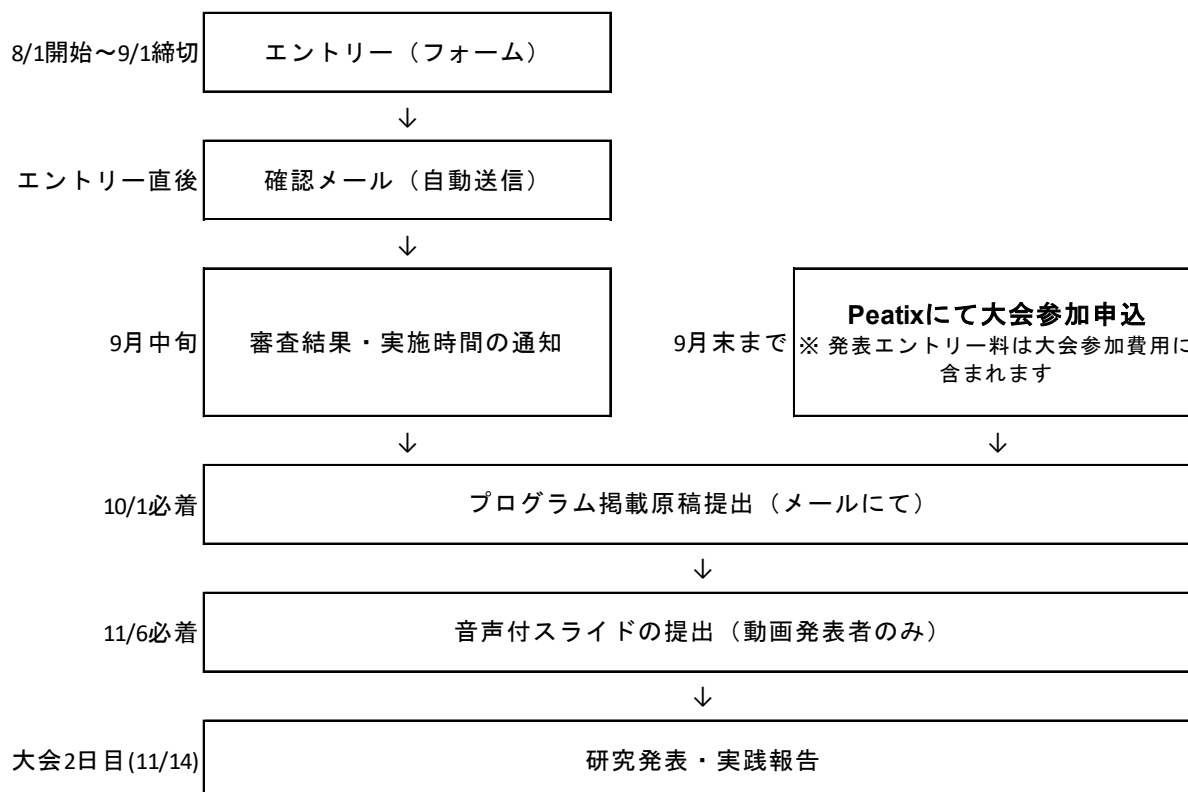
ご賛同いただける方は、[エントリー・フォーム](#)の該当箇所（はい）をチェックしてください。

②動画発表：音声付きスライド発表（動画 20 分・コメント欄による質疑応答）

※大会参加者へ動画公開（1 か月間）をします。その間、コメント欄での質疑応答を行います。

可能な範囲で回答をお願いします。

4. 発表当日までのスケジュール



- ・エントリー期限……………2021 年 9 月 1 日（水）
- ・エントリー審査結果発表（発表可否・発表枠）……………2021 年 9 月中旬
- ・大会参加費の支払い期限（[Peatix](#) から）……………2021 年 9 月 30 日（木）

※ 参加チケット申込サイト [Peatix](https://jacc26th.peatix.com/) (<https://jacc26th.peatix.com/>)

- ・論文集原稿および公表チェックリストの提出期限……………2021 年 10 月 1 日（金）
- ・動画発表者のみ：音声付きスライド動画の提出期限……………2021 年 11 月 6 日（土）
- ・口頭発表のスライド（必須）および配付資料（推奨）……………発表当日までに各自準備

※ 配付資料を配付する場合、発表当日に時間内に Zoom のチャット機能などを使用して参加者に配付してください。

5. 論文集原稿および公表チェックリストの提出

発表可の場合、論文集原稿および公表チェックリストを期日までに提出してください。

①論文集原稿は発表区分に応じた論文原稿テンプレートに基づいて作成し、**PDF 形式に変換**して提出してください。論文集の完全版下として、そのまま使用します。

⇒ 研究発表用の論文原稿テンプレート：[academic_template.doc](#)

⇒ 実践報告用の論文原稿テンプレート：[ppt_template.pptx](#)

実践報告用の提出 PDF イメージ：[ppt_template.pdf](#)

※ 全て「<https://jacc.or.jp/conference/26th/>」内にあります。

②論文原稿および発表内容について「[公表チェックリスト](#)」を用いて自己チェックしてください。

6. 音声付きスライド動画の提出（動画発表者のみ）

動画発表者は、音声付きスライド動画（mp4 形式・30～40MB）を作成し、期日までに提出してください。

⇒ 作成方法：[YouTube 大阪府立大学高等教育開発様](#)

（<https://www.youtube.com/channel/UCIfV5anpq3i6nRU68y-NopA>）

7. 各種送付先・問い合わせ先

・各種提出物およびお問い合わせは、[大会事務局（conference-26th@jacc.or.jp）](mailto:conference-26th@jacc.or.jp) 迄お願いします。

・音声付きスライド動画は、「[ギガファイル便（https://gigafile.nu/）](https://gigafile.nu/)」等を利用してお送りください。

※ 提出物は締切りの厳守をお願いします。遅延した場合は発表の取り下げ等を行う場合があります。

V 公募シンポジウムの申込

公募シンポジウムは大会参加者から企画を公募し、大会実行委員が選定のうえ、実施を依頼するシンポジウムです。大会 2 日目（11 月 14 日）の午前中または午後 1 時間 40 分の枠をご用意しますので、その時間内でシンポジウムを実施してください。大会事務局では Zoom ミーティングルームを設定し、Zoom オペレータを 1 名配置します。テーマやシンポジストは自由にご決定いただけます。なお、公募シンポジウムは 6 枠を予定していますが、応募多数の場合にはテーマや内容等をもとに大会実行委員が実施可否の審査を行う場合があります。

1. エントリー方法

[エントリー・フォーム](#)に必要事項を記載してご提出ください。

⇒エントリー・フォーム（公募シンポジウム）は[こちら（https://forms.gle/VJsAu8gaeZxG2gmdA）](https://forms.gle/VJsAu8gaeZxG2gmdA)

※ご提出後、すぐに指定のアドレスへ確認メールが送信されます。

万が一、メールがご確認できない場合は、メールアドレスに注意して再度提出し直すか、

[大会事務局（conference-26th@jacc.or.jp）](mailto:conference-26th@jacc.or.jp) にお問い合わせください。

2. 申込み条件および注意事項

①お申込みには企画者が以下の条件をすべて満たしていることが必要です。

- ・大会当日において本学会正会員（学生会員を含む）であること。
- ・大会当日において年会費を納入済みであること。
- ・指定の期日までに大会参加費が支払い済みであること。

（大会参加費に公募シンポジウムのエントリー料が含まれています）

②注意事項

- ・公募シンポジウムのエントリーは 1 大会につき 1 回のみです。

（研究発表と公募シンポジウムにそれぞれ 1 つずつ申し込むことは可能です）

- ・応募多数の場合は、審査のうえ、不採択となる場合があります。
- ・公募シンポジウムの内容は広報および大会記録のため録画いたします。広報委員が公募シンポジウムの概要を文章にまとめて会員に報告する際の資料にしたり、シンポジストが話している画面を広報誌

などに掲載したりする場合があります。参加者の発言や表情は掲載しません。

- ・また、企画者の許可が得られたものについては大会終了後、約1か月間、大会参加者の限定サイトにてオンデマンド形式で視聴できるようにする予定です。

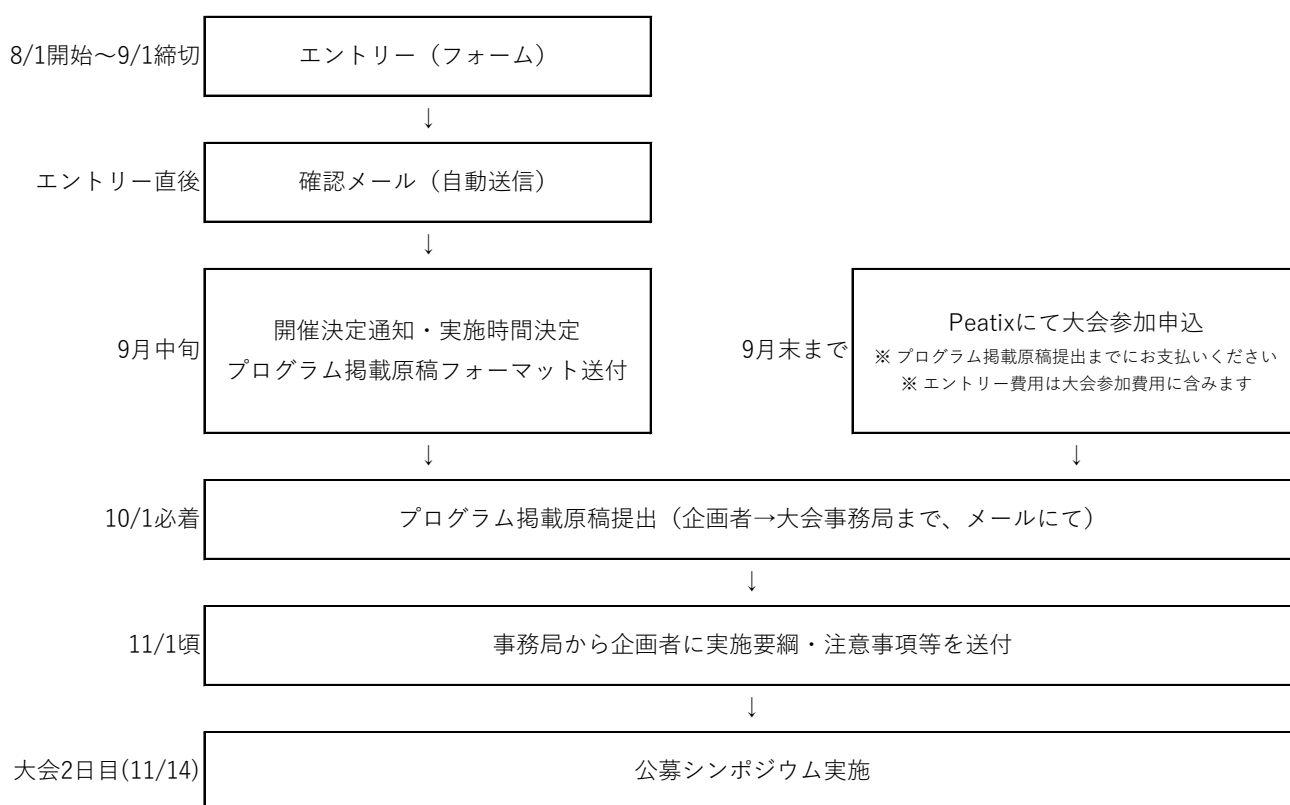
オンデマンド視聴の可否については[エントリー・フォーム](#)、または公募シンポジウム実施決定後のプログラム掲載原稿提出（10月1日締切）の際にご連絡ください。

3. 実施方法

企画者は企画内容に応じたシンポジストを募り、テーマやシンポジウムの進行（話題提供時間や質疑応答時間の配分など）を1時間40分以内で決めてください。実施形式はお任せしますが、一定程度の質疑応答時間を確保することが望ましいです。

大会運営事務局が当日のZoomルームを作成し、各ルームにZoomオペレータを1名配置します。公募シンポジウムの企画者はシンポジストとともにルームに入室し、時間内でシンポジウムを実施してください。

4. 発表当日までのスケジュール



- ・エントリー期限……………2021年9月1日（水）
- ・エントリー審査結果発表（実施可否・実施枠）……………2021年9月中旬
- ・大会参加費の支払い期限（[Peatix](#) から）……………2021年9月30日（木）
※ 参加チケット申込サイト [Peatix](https://jacc26th.peatix.com/) (<https://jacc26th.peatix.com/>)
- ・大会プログラム掲載原稿の提出期限……………2021年10月1日（金）
- ・当日使用するスライドや配付資料等……………発表当日までに各自準備

5. 発表資料（スライド・配付資料）について

ご用意いただくスライドや配付資料を配付する場合、公募シンポジウム当日の時間内に Zoom のチャット機

能などを使用して参加者に配付してください。

6. 各種送付先・問い合わせ先

- ・各種提出物およびお問い合わせは、大会事務局（conference-26th@jacc.or.jp）迄お願いします。

VI 詳細情報・問い合わせ先

第 26 回大会特設サイト（大会情報を随時更新）

<http://jacc-conf.info/26th/>

第 26 回大会事務局

conference-26th@jacc.or.jp

初版 2021.08.01